

平成28年度
相生市行政評価
第三者評価報告書

平成28年10月

相生市行政評価第三者評価委員会

目 次

1	目的	1
2	委員構成	1
3	委員会開催状況	1
4	評価対象	2
5	評価視点	3
6	評価結果に対する総括	4
7	評価ヒアリング個別シート	5
8	評価対象事業 結果比較	16

1 目的

第三者評価は、行政評価をより一層、客観性及び信頼性を高めるものとするため、外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を提言することを目的として実施しています。

2 委員構成

	氏 名	摘 要	住 所
委員長	横山 直子	大阪産業大学経済学部 教授	神戸市
副委員長	米田 浩一郎	公認会計士・税理士	姫路市
委 員	香島 英彦	相生商工会議所 専務理事	相生市
委 員	川上 栄次郎	相生市連合自治会副会長	相生市
委 員	高根 勝三	教育関係者	相生市
委 員	熊谷 智加子	公募委員	相生市

3 委員会開催状況

開 催 日	会 議 名 等	主 な 内 容
平成 28 年 8 月 5 日 (金) 15:00~17:00	平成 28 年度第 1 回 相生市行政評価第三者評価委員会	行政評価ヒアリング (2 事 業)
平成 28 年 8 月 10 日 (水) 13:00~17:00	平成 28 年度第 2 回 相生市行政評価第三者評価委員会	行政評価ヒアリング (5 事 業)
平成 28 年 8 月 17 日 (水) 13:00~17:00	平成 28 年度第 3 回 相生市行政評価第三者評価委員会	行政評価ヒアリング (4 事 業)

4 評価対象

今年度のヒアリング対象は、相生市の地方版総合戦略である「相生市もっと活力上昇計画」に記載された（国の交付金を活用した事業を含む）下記の11事業を対象としました。

平成28年度第三者評価対象事業

事務事業名	部 課 (室) 名
地 方 創 生 事 業 ※	企 画 総 務 部 企 画 広 報 課
新 婚 世 帯 家 賃 補 助 金 交 付 事 業 ※ 定 住 者 住 宅 取 得 奨 励 金 交 付 事 業 ※	企 画 総 務 部 定 住 促 進 室
地 域 振 興 事 業 ※	市 民 生 活 部 地 域 振 興 課
妊 婦 健 康 診 査 等 補 助 事 業 妊 婦 歯 科 健 康 診 査 事 業	健 康 福 祉 部 健 康 介 護 課
こ ん に ち は 赤 ち ゃ ん 事 業 2 歳 児 訪 問 事 業 つ ど い の 広 場 補 助 事 業	健 康 福 祉 部 子 育 て 支 援 室
放 課 後 子 ど も 教 室 推 進 事 業 放 課 後 児 童 保 育 事 業	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課
11 事 務 事 業	

※ 国の交付金を活用して実施した事業

5 評価視点

下記の具体的視点により評価を行いました。

(1) 成果の視点

- ・評価指標の設定は妥当か、関連性があるか。
- ・指標設定が困難な場合において最適なものを代替指標としているか。

(2) 妥当性の視点

- ・市が実施する目的は明確か、国・県や民間等との役割分担の観点から当該事務事業を市が行う妥当性・必要性はあるか。
- ・市民ニーズは、高いか。

(3) 有効性の視点

- ・評価指標の数値は計画値を達成しているか。
- ・計画・目標設定が高すぎないか、あるいは低すぎないか。
- ・成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はあるか。
- ・市民サービス向上の改革改善効果が見られるか。

(4) 効率性の視点

- ・コストを削減する努力をしているか、削減する余地はあるか。
- ・受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はあるか。
- ・委託や指定管理者制度の導入、補助事業化など、サービスを下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はあるか。
- ・当該事務事業が個別目標・施策実現のための手段として最適か。

(5) 総合、方向性の視点

- ・過去の行政評価結果が生かされて、PDCAサイクルが機能しているか。
- ・課題・懸案事項に対する今後の展開方針は妥当か。
- ・今後に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か。

(6) 地方創生の視点

- ・目標数値は妥当か
- ・目標達成のための手段が適切に講じられているか。またその見込みがあるか。
- ・地方創生への効果が期待できるか。

6 評価結果に対する総括

本委員会（行政評価第三者評価委員会）において、平成 28 年度は 11 事務事業についてヒアリングを実施し第三者評価をおこなった。これまでも教育、子育て、定住をめぐる課題の解決のために積極的に取り組みをおこなってきておられ、これらの課題解決に対するさらなる取り組み強化という姿勢が明確に示されており、今回のヒアリングは、非常に熱の入ったヒアリングとなった。各事務事業に対してヒアリング時間が十分にとられていた中で、様々な視点から多くの質問・意見があり、一方、質問・意見に対するしっかりとしたお答え、説明があったことで、きわめて活発なヒアリング時間となった。このことは、ヒアリング実施という観点から見て非常に高く評価したい点である。また、いくつかの事業の中には、しっかりと個性があらわれているものが見られ、工夫して意欲的に取り組まれている姿勢が伝わるものでありこの点も高く評価できる。

一方で、今回の 11 事務事業に関するヒアリング実施の中から、さらに改善すべきである点、また、一層期待したい点について以下に述べる。

第一に、ヒアリング実施と評価シートとの関係についてである。上述のように、今回のヒアリングにおいて多くの質問・意見があり、質問・意見に対するしっかりとしたお答え、説明があったということは、ヒアリング実施において非常に意義が大きい観点の一つである。しかし一方で、評価シートの充実の観点から見るとより工夫がおこなわれることを期待したい点が見られる。本ヒアリングにおいて、評価シートにおける記述が少ないところがいくつか見られたため、質問をおこない、ご説明を聞くことによって確認し理解が深まるということもあった。評価シートにおいて、各事業の明確な目的、評価指標等とともに、現状認識に関する説明についてもより詳細な記述があることによって、ヒアリングから得ることができる成果もより意義が大きいものとなるといえるのであり、ヒアリングにおいて行政評価シートの位置づけも極めて重要であることを強調したい。

第二に、有効性のさらなる分析についてである。今回のヒアリング全体を通して有効性が高いといえる事業が多くみられたが、一層の満足度上昇に向けて、何が有効性につながっているか細かく見極めるためにも、詳細な分析を含めて検証が重要になってくるといえる。

第三に、様々な「つながり」の重要性に関する視点についてである。各事業の目的、目標と日々の取り組みとのつながり、それぞれの事業の連携・つながり、サービスの量と質の向上のつながり等、常に検討する必要がある観点が多くあり、視野を広げて取り組むことで効果がより大きいつながりを生むことできるといえるのである。

相生市行政評価第三者評価委員会
委員長 横山 直子

7 評価ヒアリングシート

事務事業名	地方創生事業
評価結果	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善) ※ <input checked="" type="checkbox"/> 完了
<p>【評価理由】</p> <p>策定にあたって、住民アンケートの実施や各分野からの参画により、市の実情と多くの意見を適切に把握しているだけでなく、全体施策との整合も取れており、市の長期的にあるべき姿を捉えた計画であるといえ、有効である。</p> <p>今後は計画で策定した目標の進捗把握により、事業の検証と見直しをおこない、実効がある計画とすることが重要である。</p> <p>そのため、職員が各事業と目標のつながりを強く意識するだけでなく、市民や各種団体へのさらなる周知を進め、市全体で活性化に取り組んでいくことを期待する。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none">○計画全体の目標と、各事業のつながりを意識すべきである。○計画実現による長期的な市のビジョンを説明していくことが重要である。○目標達成のために、幅広い視野で検証と見直しを積み重ねていくことが重要である。○観光事業における地方創生を実現してほしい。	

事務事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>子育て・教育・定住支援を「11の鍵」としてパッケージで実施している施策のひとつであり、施策を契機とした転入者が一定数あることから人口増加対策につながっていると考えられることや、転出抑制効果も認められるため、継続とする。</p> <p>本事業としての効果を検証するためにも、対象年齢、補助金額及び補助年数の妥当性を明示することや、フォローアップの実施が必要である。</p> <p>また、より大きな効果を得るため職員だけでなく市全体で取り組むようなPR方法の検討が必要である。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業単独でなく、他の子育て関連施策と連携したPRがより重要となってくる。 ○本事業単独の効果を測る指標の設定や検証方法を検討すべき。 ○3年間補助金を交付して終わるのでなく、その後のフォローアップを実施することが重要である。 ○本事業を契機として転入した人を定住につなげるため、住みやすい生活環境の整備を期待する。 	

事務事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>人口増加に向けた定住促進施策は市として必要であり、その施策の一つの事業として有効な役割を果たしているといえるため継続とする。</p> <p>定住促進施策全体として、何が有効であるか検証が難しい部分もあるが、きめ細やかに検証・分析を重ねて有効な定住促進施策を見極めていく必要がある。</p> <p>また、奨励金の一部を地域振興につながるような商品券にするなど、交付金額や交付方法の見直しを期待する。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有効性及び効率性の指標を検討すべきである。 ○一部の年齢層への奨励金交付事業であるため、事業目的を粘り強く説明し、理解を得ることが重要である。 ○住宅メーカーや不動産業者との連携を強化すべきである。 ○人口減少対策は必要であるが、今後の市政運営への財政的な影響を正確に把握し、住民への理解を求めることが必要である。 	

事務事業名	地域振興事業
評価結果	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善) ※ <input checked="" type="checkbox"/> 完了
<p>【評価理由】</p> <p>アンケート結果からも住民の満足度は高く、また、配布方法についても公平性が保たれており、事業の成果があったといえる。</p> <p>ただし、相生市として特有の効果がどのようなものであったのかの分析は必要である。</p> <p>本事業により売上が増大した店舗もあるが、継続して売上を維持できているのかフォローアップが必要である。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品券配布時の混雑等、改善可能な点については、改善策を検討しておくべきである。 ○一過性の事業となってしまうことのないよう、市内商店の活性化につながる契機となるため、今後はさらに商店街の店舗の協力を得ることで、効果が一層高まるような事業展開を試みるべきである。 ○商店街への刺激や活性化のため、数年に1回実施しても良いと考える。 	

事務事業名	妊婦健康診査等補助事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>安全・安心な出産、妊婦の健康確保は大変有意義であり、また受診率の高さからも妥当性や有効性が認められるため継続とする。また、人口減少対策にも有効であり、地方創生との整合性も認められる。</p> <p>しかし、助成回数や助成金額については検討が必要である。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業評価にあたり、受診率を指標とする必要がある。 ○有効性の指標として、助成回数をベースとした受診率を指標とすべきである。 ○助成券の交付数や助成額の引き下げを検討すべきである。 	

事務事業名	妊婦歯科健康診査事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>本事業は、妊婦及び子どもの口腔衛生向上が目的であるが、現状では受診率が低く目的を達成できているとは言い難い。そのため、妊婦のニーズや意識の把握をおこなうとともに、別事業と連携した実施時期の検討等を行い、受診率向上への改善を期待する。</p> <p>事業としては実施を始めて2年目ということもあり継続とするが、上記の改善を図りながら、対象者に必要性を周知して認知率を高めたうえで再度、効果検証をおこなう。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有効性を示せる評価指標の検討が必要である。 ○受診率の目標を高く設定し、事業を実施していく必要がある。 	

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>子育て世帯への支援策の一つとして、市民ニーズが高く、妥当性及び必要性もあるため継続とする。</p> <p>今後は、訪問した家庭の満足度調査や、訪問後のフィードバック、他部署との連携を強化し、高い水準でのサービスの提供を心掛けて、取り組みを進めていただきたい。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有効性を示せる評価指標の検討が必要である。 ○近隣市町との比較について、検証すること。 ○事業をおこなったことによる成果、満足度の確認が必要である。 ○評価シートにおいて、現状認識・分析といった内容を詳細に記載すべきである。 	

事務事業名	2歳児訪問事業（子育て家庭支援訪問事業）
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小（改善）
<p>【評価理由】</p> <p>1歳と3歳の間での訪問事業は、相生市の個性が表れた事業であり、「つなぐ・引き継ぐ」という明確な市の役割からも妥当性が認められるため継続とする。</p> <p>しかし、保護者の不安を過度にあおることがないようにするなど、配慮が必要である。</p> <p>事業の有効性を高めるためにも、幅広い視点で見たときの他事業との連携状態の確認が必要である。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標を高く設定し、有効性を示せる評価指標の検討が必要である。 ○訪問後の支援、フォローにおいて関係機関との連携を強化すべきである。 ○民生委員と連携するなど、市の負担軽減を検討すべきである。 	

事務事業名	つどいの広場補助事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>子育て世帯の情報交換、仲間づくりや交流がおこなえる広場が近場で開催されていることは、子育て中の世帯にとって非常に有効であり、継続とする。</p> <p>ただし、市の補助により実施している事業であるため、内容や効果の検証を十分おこなない、補助金額の根拠の妥当性や、効果を示すための有効性について検討する必要がある。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有効性を示す指標を検討し、見直すべきである。 ○事業評価のための現状分析やアンケートを実施し、事業改善につなげるべきである。 	

事務事業名	放課後子ども教室推進事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>現在の児童を取り巻く環境からも、安全・安心に活動できる放課後における居場所・環境づくりは必要であり、妥当性が認められるため継続とする。</p> <p>今後、市、ボランティア、学校などの安全管理の責任の所在を明確にするとともに、連携強化を図りながら、進めていきたい。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業の目的をより一層明確にすべきである。 ○事業の有効性について満足度を把握するなど、毎年の検証と分析が必要である。 ○評価シートにおいて現状認識・分析といった内容や、ボランティアスタッフとの連携について詳細に記載すべきである。 ○参加児童とボランティアの数を把握し、適切な配置とすること。 	

事務事業名	放課後児童保育事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小(改善)
<p>【評価理由】</p> <p>保護者の就労支援や児童の居場所づくりが必要というだけでなく、現在の社会情勢からみても今後のニーズが高まることが予想されるため継続とする。</p> <p>今後は、安全・安心を考慮するため、指導員の確保とともに環境整備についてもきめ細やかな見直しを続けて質の向上に努めていただきたい。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指標の見直しをおこない、PDCAサイクルを有効に機能させること。 ○近隣市町との比較について検証すること。 ○評価シートにおいて現状認識・分析といった内容を詳細に記載すべきである。 	

8 評価対象事業 結果比較

方向性	担当課	行革推進委員会	第三者評価委員会
拡大	—	—	—
継続	9	9	9
縮小	—	—	—
完了	2	2	2
合計	11	11	11

事務事業名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
地方創生事業	完了	完了	完了
新婚世帯家賃補助金交付事業	継続	継続	継続
定住者住宅取得奨励金交付事業	継続	継続	継続
地域振興事業	完了	完了	完了
妊婦健康診査等補助事業	継続	継続	継続
妊婦歯科健康診査事業	継続	継続	継続
こんにちは赤ちゃん事業	継続	継続	継続
2歳児訪問事業	継続	継続	継続
つどいの広場補助事業	継続	継続	継続
放課後子ども教室推進事業	継続	継続	継続
放課後児童保育事業	継続	継続	継続